

要件定義フレームワーク 概要説明資料

第2.30版

2018年09月07日

TIS株式会社



この作品は [クリエイティブ・コモンズ 表示 - 継承 4.0 国際 ライセンス](https://creativecommons.org/licenses/by-sa/4.0/) の下に提供されています。

要件定義フレームワーク©2018 TIS INC. クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(表示-継承 4.0 国際)。

本資料について

本資料は、管理者、開発者、組織長など様々な立場の要件定義フレームワークの内容をご存じない方々に、要件定義フレームワークの全体像および概要を理解頂くことを目的としています。

1. 要件定義フレームワークとは

1. 要件定義フレームワークとは

**要件定義フレームワークは、
業務/システム要件定義の進め方、成果物、技法、ノウハウを
体系的かつ実践的なレベルにまとめたガイドラインです。**

【コンセプト】

体系的

トレーサビリティが明確な作業プロセスをガイド

実用的

現場プロジェクト要件定義で実践可能な詳細度でガイド

理解容易

要件定義を学ぶ人にも理解しやすいガイド

1. 要件定義フレームワークとは

【目的】

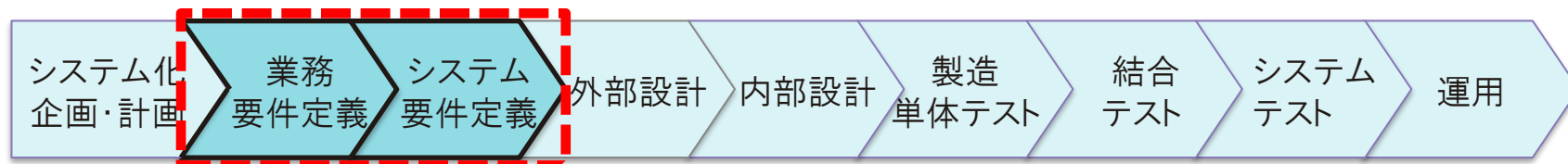
- 要件定義プロセス・技法等の標準(ベースライン)を共有する
- プロジェクト状況に合わせたカスタマイズで、合理的・効率的に要件定義を進める
- プロジェクト/フレームワーク間で、ノウハウ・TIPSのフィードバックサイクルを回す

【ねらい】

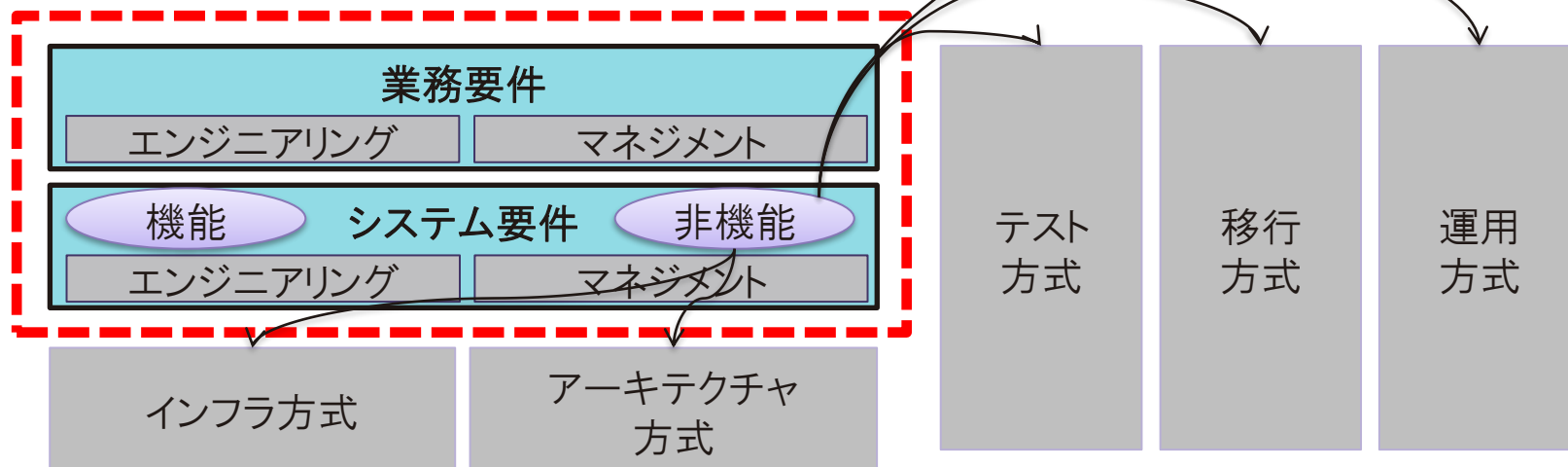
- 要件定義起因のプロジェクトトラブルを撲滅
- 『ビジネス・業務』と『システム』の橋渡し

1. 要件定義フレームワークとは

【対象工程】



- 【対象領域】
- APS(業務SE)担当領域が対象
 - マネジメントは要件定義固有事柄を対象



1. 要件定義フレームワークとは

【業界内の標準との関係】

要件定義フレームワークは、REBOK(アールイーボック)[1]等のビジネスアナリシス、要求工学の知識体系を、全体的な考え方や要件定義プロセス等のベースとし、具体的には下記の対応関係があります。

- 業務要件定義とシステム要件定義のプロセスガイドが定義する、「プロセス」「サブプロセス」レベルのプロセスは、REBOK[1]のプロセスモデルを踏襲しています。
- 非機能要件定義で決めること(メトリクス)は、非機能要求グレード[2]の項目一覧を踏襲しています。
ただし、「テスト要件」「ネットワーク要件」を要件定義フレームワークで独自に追加しています。

※:REBOK[1]は、実践の視点から要求工学知識を体系的に整理した知識体系です。

※:非機能要求グレード[2]は、重要な項目から段階的に詳細化しながら非機能要求の確認を行うツール群です。

これに、従来から開発現場で活用しているプロセス・技法を加え、不足しているプロセス・技法を補ったものを、要件定義の現場で使えるレベルまで、内容の具体化、詳細化を行っています。

1. 要件定義フレームワークとは

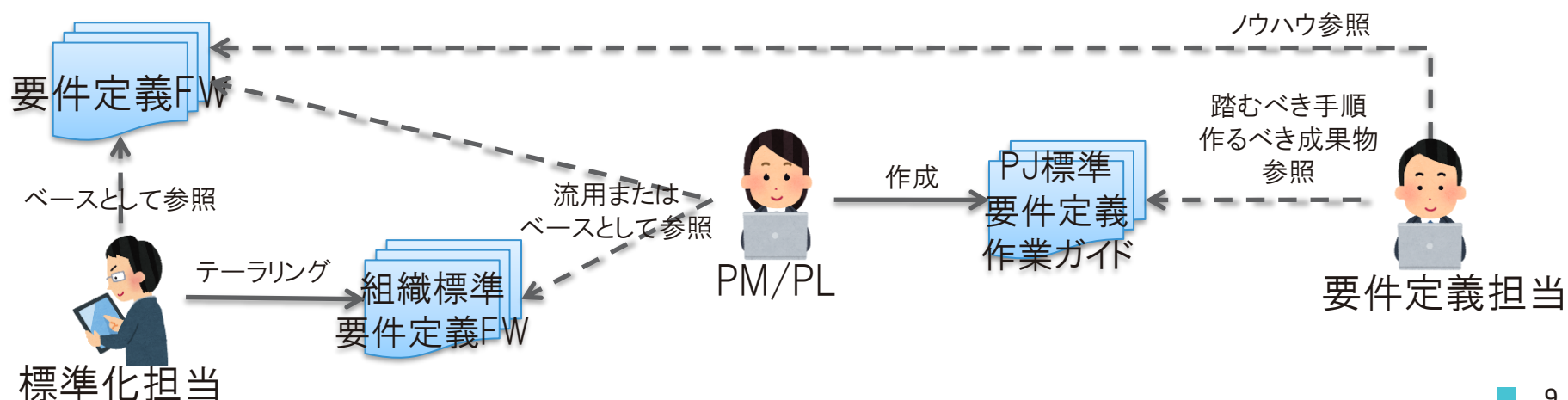
【構成】「基礎知識」「プロセスガイド」「成果物ガイド」「技法ガイド」の4点で構成

名称		内容
1	要件定義基礎知識集	要件定義に関する一般的な基礎知識を解説 (≡要求工学基礎知識)
2	要件定義フレームワーク概要説明書	要件定義フレームワークの 基本的な考え方、構成、使用方法、背景等
3	要件定義計画	要件定義計画プロセスガイド
4	要件定義計画成果物 サンプル&ガイド	要件定義計画で作成する成果物の 体系や成果物様式、記述ガイドラインを定義
5	業務要件	業務要件定義プロセスガイド
6	業務要件定義成果物 サンプル&ガイド	業務要件定義で作成する成果物の 体系や成果物様式、記述ガイドラインを定義
7	システム要件	システム要件定義プロセスガイド
8	システム要件定義成果物 サンプル&ガイド	システム要件定義で作成する成果物の 体系や成果物様式、記述ガイドラインを定義
9	要件定義技法ガイド	業務要件定義、システム要件定義で活用する 主要な技法の実践ガイドライン

1. 要件定義フレームワークとは

【想定利用者と利用シーン】

誰が	いつ	どのように
PM/PL	要件定義開始前	要件定義フレームワークをベースに、プロジェクトの要件定義作業ガイドラインを作成
要件定義担当者	要件定義実施時	作業ガイドラインに沿って作業を進めながら、要件定義フレームワークのノウハウを実践
組織標準担当者	組織標準作成時	業務ドメインやお客さまの特性を考慮した、要件定義プロセス/成果物のテーラリング
外部設計担当者	外部設計開始前 (外設から開始するPJ)	お客さまから受領する要件定義成果物の品揃え、内容、品質を確認



参考文献

参考文献

[1] JISA REBOK企画WG 編（2011）『要求工学知識体系 第1版』株式会社 近代科学社

[2] IPA/SEC（2010）『非機能要求グレード』

<https://warp.da.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/12446699/www.ipa.go.jp/sec/softwareengineering/reports/20100416.html>

※「国立国会図書館インターネット資料収集保存事業(WARP)サイト」で閲覧が可能です。